PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **62186634** A

(43) Date of publication of application: 15.08.87

(51) Int. CI

H04L 13/00 G06F 13/00

(21) Application number: 61027976

(22) Date of filing: 13.02.86

(71) Applicant:

NEC CORP

(72) Inventor:

MATSUDA SATOSHI

(54) HOST-TERMINAL COMMUNICATION SYSTEM BY TERMINAL PROTOCOL CONVERSION **SYSTEM**

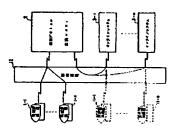
(57) Abstract:

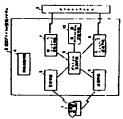
PURPOSE: To connect a terminal equipment to each on-line system without giving effect on each on-line system by providing a terminal protocol conversion system between a terminal equipment and an on-line system.

CONSTITUTION: A connection request message from a real terminal equipment 1-1 to an on-line system 3-1 is inputted to a protocol conversion means 9 via a reception means 5. The conversion means 9 converts the received message into a message form based on the protocol of an imaginary terminal equipment 11-1. The received picture input data is converted into a picture input data of the terminal equipment 11-1 by a picture data stream conversion means 10 at the same time. A controller 12 receiving the converted message via an input message sending means 8 request the system 3-1 for the connection with the terminal equipment 1-1. Thus, the real terminal equipment 1-1 and the system 3-1

are connected.

COPYRIGHT: (C)1987,JPO&Japio





⑩ 日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 昭62 - 186634

Mint Cl 4

識別記号

庁内整理番号

@公開 昭和62年(1987)8月15日

H 04 L 13/00 G 06 F 13/00 3 0 5 3 5 1 B-7240-5K R-7218-5B

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

❷発明の名称 ≈ 端末プロトコル変換システムによるホストー端末通信方式

②特 願 昭61-27976

❷出 顖 昭61(1986)2月13日

砂発 明 者

松 田 聡

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑪出 願 人 日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番1号

郊代 理 人 弁理士 芦田 坦 外2名

明 細 書

1. 発 明 の 名 称

端末プロトコル変換システムによるホストー 端末通信方式

2. 特許請求の範囲

3.発明の詳細な説明

〔 産業上の利用分野〕

本発明はデータ通信システムに関し、特に端末 装置とホストコンピュータ間のデータ通信方式に 関する。

〔従来の技術〕

従来,ホストコンピュータに新しいプロトコルを有する端末装置(以下,実端末装置と呼ぶ)を 接続する場合,実端末装置が既に接続されていた 既存のプロトコルを有する端末装置(以下,仮想 端末装置と呼ぶ)とプロトコル及び画面制御が異 なるものであれば,ホストコンピュータの各オン ラインシステムにそれぞれ新たに実端末装置の新 しいプロトコル及び画面制御を独自に組み込んで いた。

[発明が解決しよりとする問題点]

しかしながら、上述した従来の方式では、ホストコンピュータの各オンラインシステムにそれぞれ実端末装置の新しいプロトコル及び画面制御を独自に組み込む必要があるので、ホストコンピュータの全てのオンラインシステムが実満末装置を接続可能とするために、メモリ資源及び工数がオンラインシステムの数に比例して増加するという欠点がある。

[問題点を解決するための手段]

本発明の端末プロトコル変換システムによるホ

定手段を有する。

〔哭施例〕

以下,本発明の実施例だついて図面を参照して設明する。

第1回を参照すると、本発明によるホストー端末通信方式は、実端末装置1、端末プロトコル変換システム2、及びオンラインシステム3から構成されている。 端末プロトコル変換システム2は、環境設定手段4、受信手段5、送信手段6、出力メッセージ受取り手段7、入力メッセージ送出手段8、プロトコル変換手段9、及び画面データストリーム変換手段10から構成されている。

第2図を参照すると、第1図に示された遮末プロトコル変換システム2の通信システム全体にかける位置が示されている。図において、1-1・
…、1-nは実端末装置、2は端末プロトコル変換システム、3-1,…、3-mはオンタインシステム、11-1、…、11-nは仮想端末装置、12は通信制御プログラムを有する制御装置である。

ストー始末通信方式は、新プロトコルを有する実 婚末装置と既存プロトコルを有する仮想端末装置 とのプロトコルの変換を行うプロトコル変換手段 と、画面入出力データの変換を行う画面データス トリーム変換手段と,上記実端末装置から送出さ れた新プロトコルに基づくメッセージなる第1の 受信メッセージを受信する受信手段と、上記プロ トコル変換手段と上記画面データストリーム変換 手段によって第1の受信メッセージが既存プロト コルに基づくメッセージに変換された第2のメッ セージをオンラインシステムへ渡す入力メッセー 少送出手段と、上記オンラインシステムから送出
 された歴存プロトコルに基づくメッセージなる第 1 の出力メッセージを受け取る出力メッセージ受 取り手段と、上記プロトコル変換手段と上記画面 アータストリーム変換手段によって第1の出力メ ッセージが新プロトコルに基づくメッセージに変 換された第2の出力メッセージを上記実端末装置 へ送信する送信手段と,上記実端末装置と上記ォ ンラインシステムとの接続環境を設定する環境設

次に,本発明の動作について,第1図及び第2図を参照して説明する。

まず、端末プロトコル変換システム2が起動されると、環境設定手段4が動作し、実端末装置 1-1,…,1-nと端末プロトコル変換システム2が制御装置12を通して通信可能な状態にされる。

蹬11−1,…,11− □と通信するつもりで;

増末プロトコル変換システム2と適信することに カる。

この後,実端末装置 1 - 1 , … , 1 - a とオンラインシステム 3 - 1 , … , 3 - m が端末プロトコル変換システム 2 を経由して通信されるが,次に,実端末装置 1 - 1 がオンラインシステム 3-1 を使用する場合を例に説明する。

アータも、画面アータストリーム変換手段10によって実端末装置1~1の画面出力アータに変換して、送信手段6に変す。送信手段6がこのメッセージを制御装置1~2を介して実端末装置1~1に送信することにより、このメッセージが実端末装置1~1に表示される。

とのようにして、突端末装置 1 - 1 とオンラインステム 3 - 1 が接続され、以後通信が行われる訳であるが、この時の動作については、上記を読要求メッセージの場合とほとんど同じである。ただ、異なるのは、接続要求メッセージ中のオンラインシステム酸別名を見てそのオンラインシステムに設するである。

端末プロトコル変換システム2内での実端末装置1-1と仮想端末装置11-1とのメッセージの変換は主に上述した動作をとるが、たとえば、障害に関するメッセージを実端末装置1-1から

接間11-1の画面入力データに変換する。そして、入力メッセージ送出手段8は、この変換されたメッセージを仮想端末装置11-1から入力されたように制御装置12に被す。このようにして被された接続要求メッセージの中のオンラインシステムの識別名が、今、オンラインシステム3-1となっているので、制御装置12は、オンラインシステム3-1に仮想端末装置11-1との接続を要求する。

受信した場合のように、画面データストリーム変換手段10が動作しないこともある。また、実端末装置1-1のプロトコルが仮想端末装置11-1のプロトコルと1対1のマッピングができず、実端末装置1-1→受信手段5→プロトコル変換手段9→送信手段6→実端末装置1-1の径路で動作することもある。

以上,端末プロトコル変換システム2をホストコンピュータのソフトウェアとして実現した場合の一実施例を示したが,第3図のように,端末プロトコル変換システム2を実践医1-1,…,1-nとホストコンピュータの制御医12の間に殴くような構成でもよい。 この場合 アロトコル変換システム2はフロントエンプロトコル変換を置としてハードウェアによる実現が可能である。

〔発明の効果〕

以上説明したように、本発明によれば、新しい プロトコルを有する端末装置をホストコンピュー

特開出62-186634(4)

タに接続する場合に、この端末装置とオンラインシステムとの間に端末プロトコル変換システムを実装することにより、各オンラインシステムに影響を与えずに満末装置を各オンラインシステムが接続可能とすることができるとともに、従来のように各オンラインシステムがそれぞれ端末装置との通信処理を実装する場合に比べ、メモリ資源や工数が削減できるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

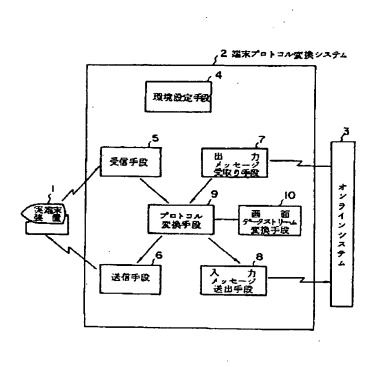
第1回は本発明の端末プロトコル変換システムによるホストー端末通信方式の一実施例を示す端末プロトコル変換システムの構成図、第2回は端末プロトコル変換システムを含めたホストー端末通信システム全体の構成図、第3回は第2回とは別の実施例を示すホストー端末通信システム全体の構成図である。

1 , 1 - 1 ~ 1 - n … 婦末装置 , 2 … 端末プロトコル変換 システム , 3 , 3 - 1 ~ 3 - m … オンラインシステム , 4 … 環境設定手段 , 5 … 受信手

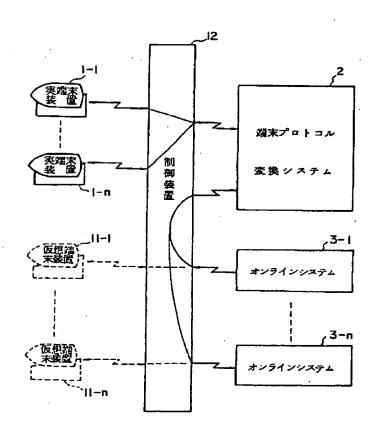
段,6…送信手段,7…出力メッセージ受取り手段,8…入力メッセージ送出手段,9…通信プロトコル変換手段,10…面面データストリーム変換手段,11-1~1…仮想端末装置,12…通信制御プログラムを有する制御装置。

代理人 (7783) 升理士 池 田 憲 保

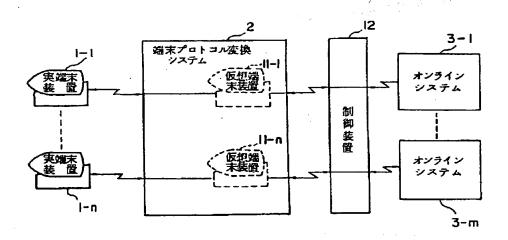




第 | 数



第 2 図



第 3 図